

# 【ジェネラリスト基礎コース】

ジェネラリスト基礎コースは、5年間であらゆる看護場面で質の高い看護サービスができ、さらにはチームリーダーの役割が担えるスタッフの育成をめざします。

ジェネラリスト基礎コース到達目標(平成26年度) 平成26年4月1日

## スタッフナース I 到達目標

1.看護サービス実践能力	2.マネジメント能力	3.対人関係能力	4.教育・研究能力
①患者の問題解決のために、正確な看護技術で看護サービスを提供できる。 ②患者の状態が緊急事態か否かを判断でき、指示を受けて行動できる。 ③日々の看護実践の中で、倫理について気づき、相談できる。	①優先順位を考慮して1日の行動計画を立て、支援を受けながら計画に沿って実施できる。 ②チームの役割を理解し、チームの一員であることを自覚して行動できる。 ③所属における物品管理について、理解できる。	①専門職としてのマナー・身だしなみ、言葉遣いができる、節度ある行動をとることができる。 ②患者および家族と良い人間関係を築くことができる。 ③医療チームにおける自己の役割を理解し、メンバーとしてのコミュニケーションをとることができる。	①ディスカッションの場で、自分の考えを発言し意見交換することができる。 ②院内や所属で行われる勉強会に積極的に参加できる。 ③看護技術の習得状況を自己評価し、今後の課題と今後の方向性を明確にすることができます。 ④今年度の臨床看護実践能力の自己評価ができ、次年度の課題を明確にすることができます。

## スタッフナース II 到達目標

1.看護サービス実践能力	2.マネジメント能力	3.対人関係能力	4.教育・研究能力
①患者の個別性を捉え、問題解決思考に基づいた実践ができる。 ②緊急時はメンバーシップを発揮して行動できる。 ③日々の看護実践の中で、倫理について気づき、問題提起できる。	①医療チームにおける責務やチームにおけるチームリーダー・チームメンバーの役割を理解し、積極的にメンバーシップが発揮できる。 ②他部門の役割を理解し、医療チームとしての情報を共有できる。 ③所属における物品管理を理解し、支援を受けながら実施できる。	①専門職として、患者および家族に共感の態度で接し、信頼関係を築くことができる。 ②医療チームとして良い人間関係を築くことができる。	①後輩に基本的な看護技術・手順の指導ができる、自己啓発につなげることができる。 ②今年度の臨床看護実践能力の自己評価ができ、次年度の課題を明確にすることができます。 ③自己のキャリア開発について考え、必要時、相談することができる。

## スタッフナース III 到達目標

1.看護サービス実践能力	2.マネジメント能力	3.対人関係能力	4.教育・研究能力
①医療チームのメンバーとして患者の状況に応じた看護サービスが提供できる。 ②緊急時を予測して対応できる。 ③日々の看護実践の中で、倫理について認識し、支援を受けながら、看護者の倫理綱領に基づいた看護サービスが提供できる。	①支援を受けながら日勤のチームリーダーの役割を担うことができる。 ②所属における物品管理ができる。 ③専門職として自己の課題を認識し、自分自身をマネジメントしながら取り組むことができる。	①医療チームにおいて相手を尊重した態度で、積極的・協調性のある行動をとることができる。	①チームの実践に結びつく勉強会等の企画・運営ができる。 ②支援を受けながら新卒看護師の育成に積極的に関わることができる。 ③専門職として、看護業務を研究的視点で捉えることができる。 ④自己のキャリア開発の方向性について、支援を受けながら考えることができる。

## リーダーシップ 到達目標

1.看護サービス実践能力	2.マネジメント能力	3.対人関係能力	4.教育・研究能力
①チームで統一した看護サービスが提供できるよう、患者と患者を取り巻く状況を分析し、問題解決に向けてメンバーに方向性を示すことができる。 ②患者の状況から予測される変化や急変に対して、迅速かつ的確な対応ができる。 ③日々の看護実践の中で、倫理について認識し、看護者の倫理綱領に基づいた看護サービスが提供できる。	①所属目標の達成に向けて、日々の業務を見直し、管理者とともに所属の課題解決に取り組むことができる。 ②勤務帯の業務内容・量とメンバーの実践力や全体の進捗状況を把握し、業務調整ができる。 ③所属内の管理上の問題について考え、発生した場合、自ら判断し対処できる。 ④患者がより良い療養生活を送れるよう、他職種と連携をとることができます。 ⑤安全性・経済性・合理性を考えた物品管理ができる。 ⑥所属の施設・設備の問題が発生した場合、点検し、必要時管理者に報告できる。	①相手を尊重しながら自分の考え方(意図や方針)をその状況に応じた言葉で表現し、相手の理解・協力を得ることができること。	①日々の実践場面で、個々のメンバーが持っている能力を発揮できるようかかわることができること。 ②自己のキャリア開発について考え、行動できる。 ③研究的視点で看護上の問題解決に向けて取り組むことができる。